

アグネス・チャン氏と乙武 洋匡氏と考える 社会の多様性

東京丸の内キャンパスは、丸の内講座特別企画「トライアングル・トーク『社会の多様性について考える』」を下記の通り開講する。

トークゲストとして村尾信尚教授、知性派タレント、文化人として幅広く活躍中のアグネス・チャン氏、大学在学中に出版した『五体不満足』がベストセラーとなった作家の乙武 洋匡氏を迎えて開催する。

「丸の内講座」は、関西学院東京丸の内キャンパスが社会人へのリカレント教育の場として開講しており、今年で11年目を迎える。

同講座では、NEWS ZEROのメインキャスターでもある村尾信尚関西学院大学教授(東京駐在)の監修の下、日本が直面するいろいろな課題について考えてきた。

※一般参加可能、無料、申し込み要

■日 時: 2015年4月17日(金)

13時30分～15時15分

■場 所: ステーションコンファレンス東京 5階
(東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー内)

■定 員: 300名

■申し込み・問い合わせ:

関西学院東京丸の内キャンパス(03・5222・5678)

英語版フェイスブックをオープン

関西学院大学は、海外への情報発信力を強化するために、英語版のフェイスブックページ(<https://www.facebook.com/KGUglobal>)を新設した。

英語版のフェイスブックページでは、学生活動やイベント情報、キャンパス風景などを随時英語で発信していく。3月末の開設以来、ファン数は順調に伸び、現在約900人のファンを獲得している。今後は海外への情報発信ツールとして、広報室が中心となって運用していく。

関学大は、2011年より日本語での公式フェイスブックを立ち上げ、ファン数は約4万人で日本の大学で1位をキープしている。



紛争で傷ついた子供たちを支援 ～ドイツの国際平和村でボランティア～



社会学部3年生の川東真歩さんは9月から約半年間、ドイツ・オーバーハウゼン市にある「ドイツ国際平和村」で、紛争で傷ついた子どもたちを支援するボランティア活動に参加する。



関西学院大学では、より多くの学生を海外に送り出し、将来「世界市民」として活躍するのに必要な能力を磨いてもらうために、国際的なNGOや小学校などに学生を派遣している。

ドイツ国際平和村は派遣先の1つで、紛争や危機的状況に直面したために十分な医学的治療を受けることができない子どもたちに援助を提供している機関。現地では、ドイツ語で施設に入所している子どもたちの日常生活の世話を当たるといふ。

川東さんは、関学大で学ぶからには関学でしかできないことに挑戦したいと考え、国際ボランティアに参加することを決めた。そのステップとして、1年生の時にベトナムでの海外フィールドワーク、2年生の時には国連セミナーに参加。ベトナムでは支援される側の視点、国連では支援する側の視点からボランティアの全体像を捉えてきた。

また、国連セミナーでは、ノーベル賞受賞者のマララさんの講話を聞く機会があり、「“education for global citizen”という言葉を覚えてもらい、自分自身が世界市民の1人と自覚することが、社

会に貢献できる人間になる第一歩だと認識しました」と語る。「私は平和な日本に生まれましたが、ドイツ国際平和村では、戦争しか知らなかった子供たちと接することになります。平和について深く考えてきたい」と前を見据えた。



マララさん(右から2人目)と川東さん(右端)、ニューヨーク・国連本部前にて。

次号は4月13日(月)発行予定